

# 最終レポート作成に際しての注意点

伊藤 岳

2018年7月26日

最終レポートを執筆する上では、リアクション・ペーパー以上に図書・論文・その他資料を引用することが多くなると思います。執筆に際して、特に無自覚な剽窃（ひょうせつ）や不適切・不完全な参考文献リストの作成を行わないよう、十分注意してください。

講義時に指示する最終レポートの内容や講義内容を無視したレポート、文献引用のルールを守っていないレポート、あるいは日本語のルールを守っていないレポート等は、いずれも大幅に減点するか、採点対象外とします。特に、剽窃・「コピペ」のような悪質な行為は大学担当部署に通報し、処分を委ねざるを得ません。これらの注意点を守らないレポートを提出した場合、この講義のみならず、今学期あるいは今年度の全単位取り消しのような厳しい処分が下される可能性もありますので、十分注意してください。くどいようですが、剽窃・「コピペ」行為には、試験での不正行為と同様の厳しい処分が課されます。また、担当教員が救済することもできません。

下記に論文・レポート作成に役立つ文献をいくつか挙げておきます。心配な履修者は参照の上、最終レポートを提出してください。また、上記のような点は「言われるまでもない／十分できている」と自覚している人も、不用意なミスを避けるため、適宜参照してください。

- 岩崎 美紀子. 2008. 『「知」の方法論：論文トレーニング』岩波書店.
- ヴァン エヴァラ, ステューブ. 2009[1997]. 『政治学のリサーチ・メソッド』野口 和彦・渡辺 紫乃訳, 勁草書房.
- 花井 等・若松 篤. 2014. 『論文の書き方マニュアル：ステップ式リサーチ戦略のすすめ (新版)』有斐閣.
- トウラビアン, ケイト L. 2012[2007]. 『シカゴ・スタイル：研究論文執筆マニュアル』沼口 隆・沼口 好雄訳, 慶應義塾大学出版会.

ただし、文献引用・文献表記の作法・ルールには、学問分野・学会・学術誌等によって差異があります。講義では基本的に政治学系の引用・表記法に従っていますが、たとえば経済学のような他分野の引用・表記法を用いても（一定の作法・ルールに従う限り）問題ありません。

なお、教科書は 3rd edition を短期の貸し出し用に 1 冊購入済みです（研究室所蔵）。加えて、教科書 3rd edition 1 冊, 2nd edition 1 冊と副読本も各 1 冊もあります。個人利用用に複写を取りたい場合は、早めに申し出てください。